

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
英語	2 単位 進学と留学	英語学	前田 浩	2 年次	秋

授業のキーワード	英語の言語学、法則性・規則性、形式と意味
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	「英語学」は簡単に言うと「英語の言語学」という意味で、英語では English Linguistics と言います。一見すると何の規則性・法則性もないように思われるさまざまな英語の言語現象に対して、規則性・法則性を発見し、何故そうなるのか明確な説明を与えることを 目的とします。その過程を通じて、英語という言語のよりよい理解が得られます。
履修のアドバイス・ 前提科目等	時間の関係で「英文法 1、2」では扱えなかった現象を扱いますので、英文法の知識を完全なものにしたい学生は是非 受講してください。論理的思考力が要求される講義です。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	イントロダクション	講義内容、評価方法、約束事の 詳細について説明します。	第 9 講	能動態と受動態	能動態と受動態の選択原理について考察します。
第 2 講	音声と綴り字	音声と綴り字の関係について考察します。	第 10 講	比較構文	さまざまな比較構文の形式と意味について考察します。
第 3 講	音声と綴り字	音声と綴り字の関係について考察します。	第 11 講	比較構文	さまざまな比較構文の形式と意味について考察します。
第 4 講	強勢	複合語の強勢について考察します。	第 12 講	比較構文	さまざまな比較構文の形式と意味について考察します。
第 5 講	情報構造	情報構造の原則について考察します。	第 13 講	関係代名詞の省略	関係代名詞の省略の原理について考察します。
第 6 講	情報構造.	情報構造の原則について考察します。	第 14 講	まとめ	講義のまとめをします。
第 7 講	情報構造.	情報構造の原則について考察します。	第 15 講	試験	
第 8 講	能動態と受動態	能動態と受動態の選択原理について考察します。	評 価 方 法		定期試験 100%
	備 考 (関連する資格・試験等)				
	使用する教科書 (必ず購入してください)			参 考 文 献	
	オリジナルのプリントを使用します。			必要な場合は講義時に紹介します。	